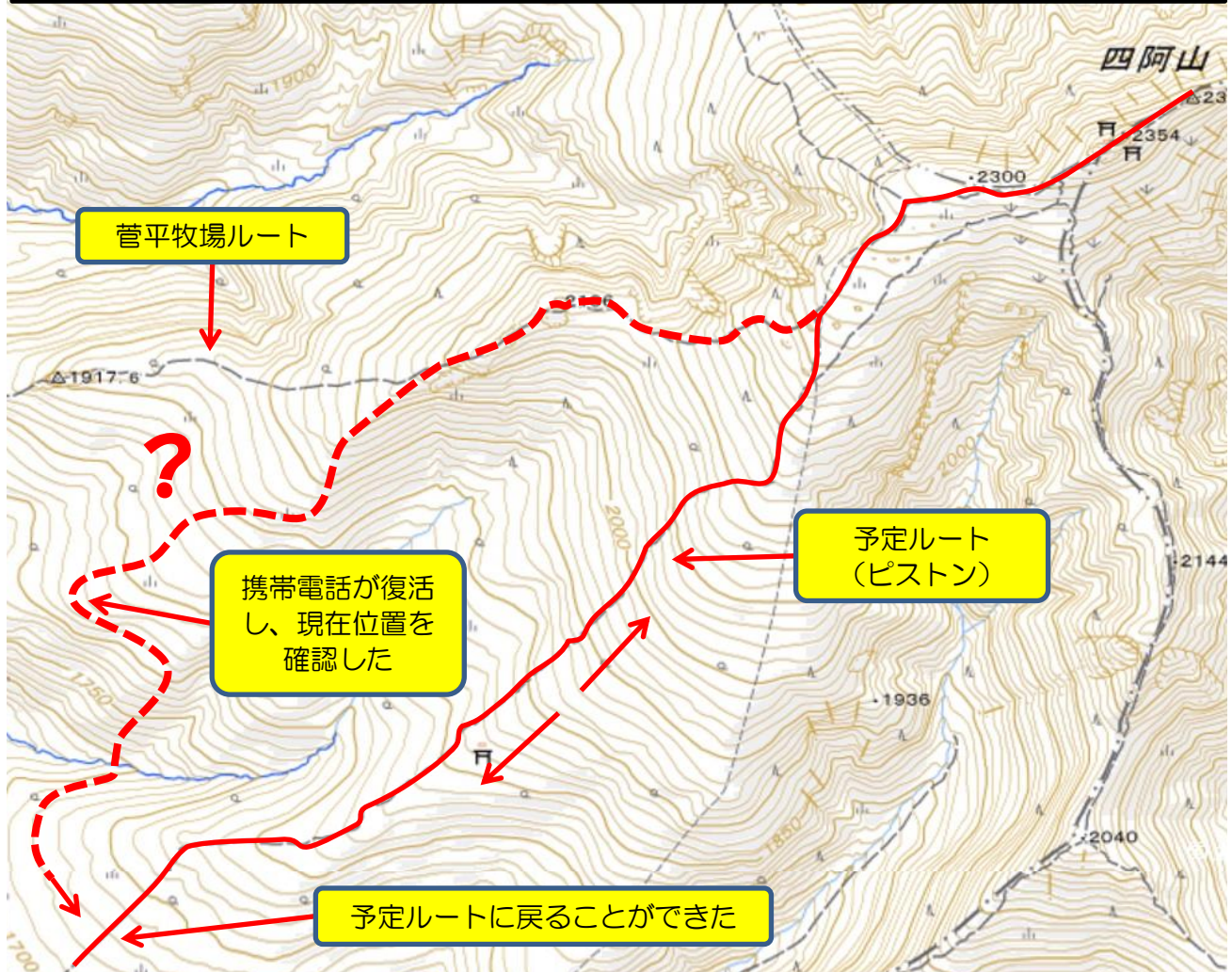


## 四阿山道迷い(2023年1月)

男性、単独。スマホの地図アプリで行動し、登りで電池が落ち使えない状態で頂上へ。下りの分岐でトレースが分からず道迷い。肌で温めていたスマホが復活し現在位置を確認することができ、予定ルートに戻ることができた。



## 解説

スマホの地図アプリは電源が落ちたため使えない。引き返そうと思ったが、下から登山者が登ってくるので、頂上へ行くことにした。頂上へは他のルートから登ってきた登山者もいたので景色を満喫。

しばらくして一人で下山を開始。菅平牧場からの登山者が多いためトレースを頼りに下っていると菅平牧場方面へ進み予定ルートから外れてしまう。中四阿(2126m)へ到着し、朝のルートと違うと思うもそのまま進んでしまう。道迷い心理の不思議である。

更に足を進め、トレースが無くなってからも下ってしまう。途中で祈る思いで肌で温めていたスマホの電源を入れると復活！現在位置を確認。下山予定したルートに方向を定め進み、戻ることができた。

冬山でスマホの電源が急に落ちることはよくある。「あれっ？さっきまで充電が70%あったのに暗くて動かない？」私も経験したことがある。気温が低い山行では「紙地図とコンパス」は必携。そして使えなければ意味がない。コンパスの使い方は基本を覚えれば難しくはない。難しいとすれば、「現在位置の把握」と「悪条件でもコンパスが指す方向を信じる」ことだろう。普段からの練習は必要だ！